
餅は餅屋（四百文字お題小説）

りったん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

餅は餅屋（四百文字お題小説）

【Nコード】

N3760BA

【作者名】

りったん

【あらすじ】

いつものようにお題小説です。

(前書き)

沢木先生のお題に基づくお話です。

「餅は餅屋」をお借りしました。

OLの律子はスチャラカな性格である。

それなのに何故か社内で一番人気の藤崎君と付き合っている。

しかも、藤崎君は律子の部屋に行き、片づけられない症候群の律子の代わりに部屋を片づけ、掃除をし、料理まで作っている。

「藤崎君は律子のどこが良くて付き合っているの？」

律子の同僚の香が尋ねた。

すると藤崎君は会心の笑顔で、

「放っておけない危うさがいいんですよね」

「そうなんだ」

以前付き合っていた彼氏に、

「お前は隙がなさ過ぎてつまらない」

と言われた事を思い出す香である。

（女は危なっかしい方がいいのかな？）

そう思う香であるが、どう頑張っても律子のようなチャランポランにはなれない。

「藤崎君のお父さん、シェフなのよね」

律子が教えてくれた。

「そして、お母さんは家政婦さんだったの」

「ふーん」

また惚気が始まったと思う香である。

「蛙の子は蛙よね。あれ、餅は餅屋か」

苦笑いする律子を見て、

（どっちも微妙に違うと思う）

香は思った。

（後書き）

お粗末様で御座候。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3760ba/>

餅は餅屋（四百文字お題小説）

2012年1月9日21時59分発行